

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成29年度事業点検・評価調書

5- -3

5-
-3

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり	取組項目	グリーン・ツーリズム等の推進
節	・佐渡金銀山・関連地域資源を活用した島内及び全県的な魅力の発信		
事業(施策)名	3 グリーン・ツーリズム普及促進	事業主体	佐渡市観光振興課
		関連団体	県観光振興課、新潟市観光政策課、長岡市観光企画課、上越市観光振興課、佐渡市農業政策課、県観光協会、佐渡観光協会
事業実施期間	H28～H34		
事業概要	【事業目的】 都市住民の多様なニーズに対応したグリーン・ツーリズムの推進により、滞在型観光客の増加とリピーターの確保並びに農村環境の整備と地域活性化を図る。		
	【事業内容】 関係機関と連携を図りながら、コンテンツ(プログラム)の明確化を図り、ターゲットを絞った戦略的な広報を行う。		
②9 事業計画と実績	【29年度計画】 小学校を対象とした農村受け入れ体験を推進し、農村宿泊体験を300人予定する。 滞在型観光コンテンツを佐渡さんぼ等でPRする。		
	【29年度実績】 県内を中心とした小学校11校から322人の受入を行った。 佐渡さんぼでの棚田里山散策のツアーや教育体験旅行ガイドブックによる農村体験のPRを行った。 長野市、会津若松市での教育体験旅行ガイドブックを活用したセールス活動を行った。		
課題・今後の取組	【課題】 市内での体験ニーズは小学生が中心であるが、修学旅行で訪問する学校が減少している。 これまで小学生を対象に農村体験などを実施してきたが、コンテンツの整理、明確化には至っていない。		
	【今後の取組】 新潟市内や長野、福島県に修学旅行の営業を行うとともに、佐渡地域観光交流ネットワークと連携した効果的な広報宣伝を行う。		
事業評価	【事業の達成度】 (a) b ・ c)		
	【事業実施の効果】 (a) b ・ c)		
	【総合評価】 (A) B ・ C)		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。

111